



# BOUSAI

第1号 7月22日 水曜日 発行

白梅の精神



## 防災意識を高める取組

熊本県南部の記録的豪雨で、7月4日早朝に起こった球磨川の洪水では甚大な被害が発生しました。多くの人命も失われ、また被害状況も人吉から八代市まで広範囲に及んでおり、改めて自然災害の恐ろしさを感じました。梅雨はまだまだ続くのでしょうか。被災地が一日でも早く復興するようこれ以上の大雨は降らないでほしいと願っています。

休校から授業が再開してまもなく2ヶ月が経とうとしています。新型コロナウイルスの問題も徐々に収まりかけたようでしたが、熊本県以外では再び感染拡大が起り始めています。つまり、防災意識を高く持った時には事態も沈静化し、その意識が希薄になると悪化するということが新型コロナウイルスの事例では、顕著に示されています。

さて、第一高校では3年前から防災意識の向上を目指した生徒目線の取組を行ってきました。そして今回、「防災4コマ漫画作り」という企画に生徒全員がチャレンジしました。(防災担当 田代)



### 1. 防災4コマ漫画との出会い

昨年、インターネットで防災に関する書籍を検索していたら、『4コマですぐわかる新みんなの防災ハンドブック』（写真）がヒットしました。早速、購入して開いてみたら、防災に関するありとあらゆる情報が4コマ漫画で描いてあり、とてもわかりやすく、6万



部売れているベストセラーであるのに納得しました。

そこで、本校でも学校を中心とした防災4コマ漫画作りに取り組んでみようと思い、何人かの生徒にこの企画を話したところ興味を示してくれ、思い切って6月6日の防災LHRの時間にチャレンジしてみました。

### 2. 4コマ漫画作りに取り組む

生徒防災委員から各クラスの取組状況について聞いてみました。

- 一人ひとりが自分が描こうと思うテーマについて、どうすればわかりやすく伝わるか考えていました。友だちとアドバイスをしあっているところが見受けられ良かったと思います。
- さまざまな災害が取り上げられ、同じ地震について描いてあっても、一人ひとりの視点が違って面白かったです。
- 想像していたよりもたくさんの人が積極的に4コマ漫画の製作に取り組んでくれ、一人ひとりの防災に対する意識がきちんとあっていいなと思いました。新型コロナウイルスの流行により、感染症にも目を向けている人が多くて驚きました。
- 4コマ漫画を作ることが、防災を考える上で取り組みやすい活動であるとよくわかりました。

### 3. 生徒が取り組んだ題材

では、生徒たちはどんな災害について4コマ漫画を描いたのか、集計した結果が次の表です。

圧倒的に多かったのが、「地震」そして「新型コロナウイルス」で、どちらも生徒たちが身をもってその恐ろしさを体験した災害でした。

表 生徒が4コマ漫画で描いた災害

	3年	2年	1年	計
地震	114	121	104	31.4
火災	37	43	36	10.8
洪水	20	23	42	7.9
台風	1	2	19	2.0
火山噴火	2	0	1	0.3
竜巻	4	3	10	1.6
落雷	13	16	18	4.4
ミサイル	16	13	24	4.9
ウイルス	91	94	60	22.7
防災グッズ	11	14	18	4.0
非常食	9	0	2	1.0
避難所生活	6	4	9	1.8
授業中の防災	24	17	18	5.5
その他	8	7	5	1.9
計(人数)	356人	357人	366人	100.0%

### 4. 生徒防災委員の感想

- 過去2回にわたって取り組んでいた「目黒巻」は災害時の行動を予測するというもので効果的でしたが、今回行った4コマ漫画作りでは、生徒一人ひとりが関心ある内容を意欲的に描いてくれて、より生徒自身がより深く考える取組になりました。今後は、他のクラスの作品をたくさん見てもらうことで、さらに防災意識が高まればいいなと願っています。

※ 最後に、生徒防災委員役員会で選んだ第一高校防災4コマ漫画ベスト4（原図はカラー）を裏面に掲載しました。まだまだ優秀作品として選んだものが80点ほどありますが、誌面の関係上、今回はこの4作品に絞らせていただきました。